

5

支え合う「いのち」の輪 ～生物多様性の危機～

地球上の生物は、数多の進化を繰り返すことで、変化し続ける環境に適応してきました。その結果、現在、地球上には約 3,000 万種もの生物が存在していると推定されており、互いに影響しあい、支えあって生きています。

しかし、昨今、このような生物の多様性が失われつつあることが、世界中で問題となっています。この生物多様性の減少は、直接的、または間接的に、人間の活動の影響を大きく受けているとされています。

本講座では、生物多様性の重要性や、生物と人とのかかわりについて学んでいきます。私たちが今できることは何か、生物多様性を保持するためにはどうすれば良いのかを考えていきましょう。

1	6月30日 (月曜日)	「今なぜ生物多様性なのか」 虫が支える生態系や、多様な生物とともに生きる意味について学びます。	元 常葉大学 社会環境学部 非常勤講師 加須屋 真 氏
2	7月14日 (月曜日)	「生物種の絶滅はいかにして持続可能性を損傷するのか」 種の絶滅による環境の劣化は、人間社会にどんな災難をもたらすのかをお話します。	常葉大学 社会環境学部 准教授 小杉山 晃一 氏
3	7月28日 (月曜日)	「植生から読み解く生きもの環境」 植生から、富士市の生き物や生息環境の多様性を読み解きます。	常葉大学 大学院 環境防災研究科 教授 浅見 佳世 氏

6

芸術作品からひも解く、近現代ヨーロッパの文化と社会

芸術は、自己を表現し、人生を豊かにするものとして、長年多くの人々に愛されてきました。その歴史の中で、最も時代の変動が激しい、18 世紀末～現代に至るまでのヨーロッパに焦点を当てて学んでいきます。当時のヨーロッパ社会において、芸術はどのような役割を果たし、どのような影響を与えたのでしょうか。

本講座では、美術、音楽、演劇の 3 つの観点から、近現代ヨーロッパの文化と社会について探っていきます。芸術と、文化・社会とのかかわりについて、教養を深めていきましょう。

~~※本講座の日程は、仮のものとなります。(2025 年 1 月時点)~~

市ウェブサイトにて随時更新いたしますので、以下の二次元コードより、最新情報をご確認ください。

1	7月3日 (木曜日)	「西洋の風景画のなりたち ーロマン派から印象派まで」 16世紀のドイツで成立した風景画について、18～19世紀の変遷をたどることで、当時の人々の自然観の変化を探ります。	静岡文化芸術大学 文化政策学部 講師 敷田 淳子 氏
2	7月17日 (木曜日)	「近代ヨーロッパの音楽文化と二つの世界大戦」 ヨーロッパ諸国の音楽文化について、ナショナリズムや世界大戦など、当時の社会状況に受けた影響を学びます。	静岡文化芸術大学 文化政策学部 教授 上山 典子 氏
3	7月31日 (木曜日)	「近現代ヨーロッパの演劇・舞台芸術と国際交流」 当時の異国趣味の流行と、演劇の国際化から、舞台芸術が社会に与えた影響について考察します。	静岡文化芸術大学 文化政策学部 講師 田ノ口 誠悟 氏

※講座の最新情報については、市ウェブサイトにて随時更新いたしますので、右の二次元コードよりご確認ください。

※講師・各回テーマ・日程については、都合により変更となる場合がございます。

※職名は、2025 年 1 月時点のものとなります。

